

【新製品】

平成20年9月24日

各 位

東洋バルヴ株式会社
代表取締役 小澤秀機
長野県茅野市金沢5125

**環境に配慮した農業への新たな取り組み
養液栽培向け水質・育生促進装置の発売について**

東洋バルヴ(株)(本社 東京都中央区日本橋)は、施設園芸向け水質・育生促進装置『ピュアキレイザーZPV-0型』を開発し、10月より発売します。当装置は、オゾン・光触媒・紫外線を一体化、培養液を促進酸化処理することにより、水質改善、農薬・肥料の節約、育生促進、収穫量増大に効果を発揮します。

開発の背景

食の安全、食料自給率向上等々、現在、日本の農業は岐路に立たされています。年々増加している養液栽培において、従来の使い捨て・垂流し方式は、環境への負荷も高く、近い将来規制が強化されることが予測されます。肥料、燃料価格の高騰とあいまって、農家への負担は増えるばかりです。

この様な背景の中、当社では、1年ほど前より全農長野県本部の協力を得て県内の4ヶ所でイチゴとトマト(作付面積10～20アール)の循環型養液栽培のフィールドテストを実施してまいりました。

この結果、今回開発した『ピュアキレイザーZPV-0型』は、農薬による養液の除菌や肥料の節約を簡単に解決し、更に、収穫量アップや害虫駆除などの農薬を減量することが容易に可能になるという実証が得られました。

製品の特徴

ピュアキレイザーは東洋バルヴが温泉・プール向けに2年前から販売している水処理装置であり、オゾン・光触媒・紫外線を一体化させた促進酸化効果を利用しています。今回開発したZPV-0型は、小型化、軽量化しメンテナンスを容易にすることで使い勝手の良い、水処理装置となっています。

従来、農業へのオゾン利用は、効果がある反面、オゾンの強力な反応性により植物への悪影響もあったため、あまり利用されませんでした。また、装置が高価であることも利用される機会が少なかったと言えます。今回開発した『ピュアキレイザーZPV-0型』は、例

例えば20アール程度の広さビニールハウスでも60万円前後で利用でき、フィールドテストの結果、イチゴの高設栽培で収穫量が1.4倍以上増加し、味覚も上がり、樹勢も元気になるなど大きな効果が確認できました。また、微量の排オゾンによりうどん粉病の発生が少なくなり、農薬の使用量も1/3に減少した現場もありました。これらのことより、1～2年で購入費用を回収でき、更に収穫の安定が得られること及び、排水しないエコと環境を両立した農業にも貢献できます。

『ピュアキレイザーZPV-0 型』は、昨今謳われている食の不安を解消し、都市近郊で需要が増加している野菜工場などへの利用も可能となり、今後大きく伸びていくことが期待されます。

販売目標

当面は、関東・甲信・中部圏のイチゴ、トマトの水耕栽培、野菜工場を中心に販売してまいります。販売目標は、2010年度には、10億円の売上を目指します。

以上

この件に関するお問い合わせ先

東洋バルヴ株式会社

環境事業推進部

担当：田中・矢田

電話：0266-82-0170

FAX：0266-82-0635

詳細情報：<http://www.toyovalve.co.jp/>